

職員による自己評価

A環境面

・訓練室が2階の為、階段あるためバリアフリー化が出来ていない

B児童への支援内容

・事前の打ち合わせやアセスメントの見直しを日々行い支援の質向上に努めている
 ・個別学習を取り入れたことで支援の着眼点の向上につながっている

C関係機関との連携

・自立支援協議会とのかかわりが少ない為、連携しつながりをもとめ情報交換に努める
 ・医療関係者との関わりが乏しい

D保護者への説明責任・信頼関係

・保護者様の説明や相談は迅速に出来ている
 ・交流の場が少ないのでクリスマス会のほかに茶話会等のイベントを増やし交流の場を設けていく

保護者による評価

A環境面

・バリアフリー化の配慮が足りていない箇所あり

B児童への支援内容

・土曜日の活動プログラムが毎回同じ
 ・外での活動が多く満足している

C事業所からの情報発信

・ラインやInstagramなどで随時情報共有されている

D非常対応

・定期的に訓練を実施しており、訓練内容を共有している

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援内容について保護者様・職員共に相違なし
- ・情報共有が随時行われている
- ・訓練内容が共有されている

【相違点】

- ・土曜日のプログラムが固定されている

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・外での活動プログラムが豊富
- ・個別学習を取り入れたことで職員一人一人の支援力向上につながっている
- ・日々の打ち合わせの中で気づいた事を改善するために話し合い、その日の内に実行し支援のアップデートを随時行っている

事業所の改善点

- ・バリアフリー化が少ない
- ・余暇活動を取り入れているが参加しないご利用者様は土曜日プログラムが毎回同じになる傾向がある
- ・保護者様との交流の場が減少傾向にある

事業所の改善への取り組み

- ・保護者様との交流の場を増やすため、茶話会やクリスマスなどのイベントを増やす
- ・今後も継続して打ち合わせを行い、情報共有しながら支援向上を目指す

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

相違が無い部分もあったがプログラム内容のバランスが固定化している部分があったため客観的な施設の現状を知る機会となった。

交流の場が少ない為、保護者様だけでなく他機関との連携を増やし支援向上に努めて参ります。

事業所名 保土ヶ谷もえぎ

担当者 横道達也